

科目名	【講義】都道府県での実施に向けて	方法	講義	時数	65 分
-----	------------------	----	----	----	------

## 1. 本科目のねらいと獲得目標

<b>【獲得目標】</b> ① 自都道府県での実施に向け、他県と情報共有を図るとともに自県の研修について具体的に考える <b>【ねらい】</b> ① 自県での研修に向けての課題整理を行うとともに他県との情報共有を図る
---

## 2. 本科目の概要と指導ポイント

本時の展開		
展開 1	5 分	① 導入
展開 2	20 分	② 専門研修就労コースを実施済みの都道府県からの報告 ○実施方法 ・実施主体 ・実施形態（委託 or 指定） ・定員 ・受講料 ○カリキュラム内容 ○工夫した点 ○課題
展開 3	30 分	③ 各都道府県の情報共有 ・実施予定があるか ・進捗状況 ・実施予定が無い場合の課題となっている事項
展開 4	10 分	④ 全体共有 ポイントのまとめ

#### 4. 本科目の展開例

使用する教材等（準備するもの）		
<p>[テキスト]</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>[副教材]</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>[その他の準備するもの]</p> <p><input type="checkbox"/> ノートパソコン <input type="checkbox"/> 液晶プロジェクタ <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> マイク(1本)</p>		
本時の展開		
導入	5分	<p>これまでの本研修の内容（項目）をごく簡単にさらいながら、本科目の内容を提示する。</p> <p>・本科目がこれまでの内容を統合した内容であること、2日間の講義が演習へとつながってゆくことを再度意識させる。</p> <p>※冒頭で科目別振り返り・評価シート（受講前）を記入させる。</p>
展開1	10分	<p>具体例に基づき、相談支援の流れをプロセスを追って説明し、その留意点を提示する。</p> <p>① ケアマネジメントおよびサービス等利用計画作成のプロセスと留意点（統合的理解）</p> <p>・留意点については、これまでの講義で既習の内容、もしくは既習の視点から導かれる具体的な留意事項であることを伝える。</p>
展開2	10分	<p>展開1を受け、障害者の地域生活支援を支援する相談支援とはどのようなものか、どのようなことを大事にして展開されてきたのかについて概説する。</p> <p>② 多職種連携とチームアプローチ</p> <p>・多職種連携、チームアプローチとは、その必要性・効果</p> <p>・サービス担当者会議（ケア会議）の活用と運営の留意点</p> <p>※技術的側面を具体的・詳細に伝えるのではなく、チーム支援の必要性と効果を簡潔に伝える程度でよい（初任者研修におけるテクニカルな留意点は演習1のサービス担当者会議で取り扱う。また、この部分は現任研修でも特に項目を独立させて取り扱う。）。</p>
まとめ	5分	<p>・講義のまとめを行うと共に、科目別振り返り・評価シート（受講後・気づき等）を記入させて振り返りを行う。気づきや感想をシートに言語化させる。</p>